

阿部知事と東海旅客鉄道株式会社 丹羽社長とのトップ会談 概要

○日 時：令和7年9月26日（金）11:00～12:00

○会 場：東海旅客鉄道株式会社 東京本社

○出席者

長 野 県：阿部知事、室賀リニア整備推進局長、新津東京事務所長、

安藤リニア整備推進局次長

J R 東海：丹羽代表取締役社長、水野代表取締役副社長、澤田専務執行役員、
加藤執行役員、水谷企画推進部長

阿部知事挨拶

- ・ 大変お忙しい中、丹羽社長を初め JR 東海の皆様にはこうしてお時間作っていただきましたこと、まず心から感謝申し上げます。
- ・ リニア新幹線の整備を始め、JR 東海の皆様方には長野県の様々な地域振興など平素から大変お世話になっておりますこと、この場をお借りして心から感謝申し上げます。
- ・ JR 東海の社長とのこのトップ会談、柘植社長、金子社長そして丹羽社長、それぞれの社長の皆さんと定期的にこのように意思疎通を図らせていただいております。大変ありがたく思いますし、我々県としても、地域の皆様方の思いを直接 JR トップの丹羽社長にお伝えできることは有意義な機会だと思っております。
- ・ 今日のはリニア中央新幹線建設促進長野県協議会において決定した要請についてもお話をさせていただこうと思っておりますが、いずれも地域の皆さん、市町村の皆さんの切実な思いであり、願いでありますので、ぜひ十分お汲み取り頂いてしっかり前進していただきますようお願い申し上げます。
- ・ 限られた時間ですがぜひ有意義な意見交換を頂けるというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【リニア中央新幹線建設促進長野県協議会 要望書 手交】

阿部知事

- ・ それでは、私の方から何点かお話を申し上げたいと思います。
- ・ まず協議会からの要望について、いろんな問題意識を情報交換し、この機会に共有させていただきたいと思っております。
- ・ それから未来に向けて私どもから政府に対して、国家的プロジェクトとしてのリニア中央新幹線を最大限生かすという観点からも、この長野県を多極分散型のモデルとなりうるような実証都市圏域にしていこうという提案をさせていただいてます。そういったことについても少しお話をさせていただければと思います。
- ・ まず要請書ですが、全ての項目をぜひしっかり受け止めていただければと思います。時間もありますので、私からは特に強調しておきたい点について申し上げたいと思います。
- ・ まず一番目として早期開業・開業時期の明確化でございます。先日協議会を地元で開催した際、水野副社長にもご来賓で参加いただきまして大変ありがとうございます。その際にも、やはり1日も早い開業と開業時期の明確化、静岡工区の先に延びてしまった

こと自体に我々としては大変落胆をしているところであります。しかしながら、できるだけ早く開業をしていただきたい。

- ・ そのことがやはり我々地元として、これまでも関連道路の整備というものを行っておりますが、この開業時期がわからないと、どういうスケジュールで何を決定していけばよいか、あるいは様々な企業立地等を考えると、これからリニアが開通する可能性の高い地域としてということを私はいろんなところで発言してありますが、いつになるんですかということをお示しできない。地域としての魅力の発信にも繋がらないということにもなりますので、ぜひ静岡工区の問題については鋭意お取り組みいただいているというふうに認識しておりますので、1日も早く開業時期を明らかにして頂きたい、ということ強くお願いしていきたいと思います。
- ・ 次に建設工事に関係する部分です。これまでもお願いをさせていただいているところでありますが、工事を進めていただくにあたっては、まずは安全第一、これはもう原則だと思っております。
- ・ 地元の皆様方の工事に伴っていろんな影響を受けられる方もいらっしゃいます。住民の方であったり、あるいは観光関係のみなさまであったり。そういった皆様方も、リニアが開通するのであればやむをえないということで、ある意味我慢していただいている方々もいらっしゃいますので、工事に関連してはそういう皆様方にぜひ丁寧な説明をこれからもしていただければと思っておりますし、また県内工区の完成時期については、着実に進めていただきたいと思います。
- ・ それから生活環境または自然環境への影響は、極力低減していただきたいと思います。環境保全措置を確実に進めていただくことはもとより、要対策土については土曾川橋りょうについては必要な対策を講じているということは重々承知しておりますが、しかしながら、地元の皆様方には不安もあります。ぜひ必要な対策を確実に実施していただく、そして十分な管理を行っていただいた上で、水質の観測と結果公表、これらをしっかり行っていただければというふうに思っております。
- ・ 次に、地域振興への積極的な取組です。木曾地域や南信州地域では、元々JR 東海の皆様方の運行区域でありますので、これまでもいろんな取り組みをしていただき、また地域の取り組みにもご協力ご支援いただいていること、心から感謝申し上げたいと思います。森の里親であったり、ゼロカーボン関係の推進であったり、こういったことを一緒に進めていただいているは大変ありがたく思っております。
- ・ ぜひ引き続きリニアの開業時期が延びたことによって、地元の皆さん非常に大きな負担をされている方々もいらっしゃいますし、開業までの間どうしようという課題がありますので、開業前であっても地域振興には積極的な関与をお願いしたいと思っております。
- ・ それから観光面についても 2027 年の信州 DC が行われるという形になりました。ぜひ JR 東海の皆様方とも一緒に盛り上げていきたいと考えております。
- ・ 前回 2017 年に DC を行わせていただいたときには、柘植社長とともにイベントを行っていただいたりしましたので、ぜひ丹羽社長にもお力をいただいて、多くの皆様方に長野県にお越しをいただけるようにしていきたい。我々もしっかり取り組んでいきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。
- ・ 加えて、実は今年度末に御嶽山の国定公園化の申請を予定させて頂いております。1 年前の噴火災害以降、観光客が一時期がっくり減ってしまっていて、風評被害もあったのですが、今着実に復興してきています。

- ・ 先日本曾にうかがったところで、特急しなのの利用者はこの夏結構多かったと聞いています。本曾路を歩かれる外国人の方も増えていますし、御嶽山も御嶽古道を歩かれている外国人も最近増えてきている様子でありますので、ぜひこうした地域の観光振興にも格別のご支援いただきたいと思います。
- ・ また、長野県駅（仮称）ができる飯田市と三遠南信地域は、古くから交流が盛んな地域であります。先日私も浜松、豊橋商工会議所会頭ともいろいろと話し合っ、ぜひ地域経済の発展のためにいろいろしていきましょうという話も言っていました。
- ・ そうした取組にも JR の皆さんからお力いただければありがたいですし、観光面では、天竜奥三河国定公園というのがまさに存在してます。今どちらかというとそれぞれの県がそれぞれ発信してるという状況ですので、我々と岐阜県と愛知県と一緒に取り組んでいこうと思っていますので、そうした観光振興にも格別のご支援いただければと思っています。
- ・ それからリニアの停車本数については、ぜひ 1 時間に上下線複数本の停車をお願いしたいというのが我々の強い願いであります。
- ・ 停車本数がどれくらいになるかということによって、我々の二次交通どうするかという取組にも関係してまいりますので、ぜひこうした地域の思いを受け止めていただいた上で、しっかり停車本数の確保と、これもできるだけ早く方向性を示して頂きたいと思っています。
- ・ それから最後に、冒頭申し上げた多極分散型国家モデルを、ぜひこの長野県駅を中心につくっていききたいというのが我々の強い思いであります。
- ・ これからワーキングチームを作って具体的な検討を行っていこうと思っていますので、ぜひ JR 東海には例えば皆様方の本社機能を一部移転したり等前向きなご協力をいただければと思っています。
- ・ 以上が、今回協議会で決定した要請の内容であります。我々は引き続き JR 東海の皆さん方に基本的に協力する立場で、一日も早い開業を目指す立場で取り組みたいと思いますが、今申し上げた点についてはしっかりと受け止めていただいた上で、具体的な対応をしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

丹羽社長

- ・ 私の方からも、知事からいろいろご要請いただいたことを踏まえ、お話しをさせていただきます。と思っています。
- ・ まずは、中央新幹線計画の推進にあたりまして、阿部知事をはじめ、長野県の皆様に多大なご支援ご協力を頂戴していただきます。感謝申し上げます。
- ・ このような形でですね、昨年長野県さんの県庁に直接お邪魔しましたけれども、また知事にお越しいただきまして、直接知事と意見交換をする、こういった機会を設けて頂き本当にありがとうございます。
- ・ 地元の市町村長の皆様、それから当社の役員との意見交換会、これも長野県さんの主催で毎年行わせていただいているところにつきましても、重ねてお礼申し上げたいと思います。
- ・ 知事からいろいろなお話がございました。まず沿線の工事状況について申し上げますと、品川名古屋間の各地におきまして、沿線の自治体の皆様にも色々と協力いただきながら、精力的に工事を進めているところでございます。引き続きですね、早期開業に向けて全力をあげて取り組んでまいりたいと思っています。

- ・ ご心配おかけしております開業の見通しでございますけれども、南アルプス静岡工区のトンネルの掘削工事に着手の目途が立たないという状況でございます。従いまして現時点で新たな開業時期を見通すのはなかなかできないという状況でございます。
- ・ その一方でですね、静岡県さんと精力的に対話を進めさせていただいております。着実に進んでいると思っておりますところでございます。静岡県の専門部会の中でいろいろと対話を進めさせていただきしているわけなんですけれども、その中で、この6月には、いわゆる水資源ですね、大井川の水資源に関する対話に区切りがつかしました。まだ環境の保全ですとか、発生土置き場に関する対話とかは残ってるわけなんですけれども、これについても関係の皆様方とのコミュニケーションを大事にしながら丁寧にかつスピード感を持って、対話をするということで取り組んできているところでございます。これが静岡県の関係でございます。
- ・ 一方で長野県内の工事につきましてはですね、長野県の皆様に多大なご協力を頂戴いたしまして、精力的に進めているところでございます。
- ・ 山岳トンネルでありますけれども、今年の5月に伊那山地トンネルにおきまして、隣り合った二つの工区の間が貫通いたしました。この本線のトンネルの隣接工区同士が貫通して繋がるというのは、以前からあります山梨のリニア実験線を除いては初めてのことでございます。大変ある意味画期的なことがこの5月にございました。
- ・ それから駅ですね、長野県駅でございますけれども、これにつきましても5月から駅舎部分である高架橋区間の工事に着手をいたしました。それから6月から7月にかけてまして、知事からのお話の中でも触れていただきましたけれども、自然由来の重金属を含む要対策土を土曾川橋りょうの橋脚基礎の中詰め材として活用させていただく工事を行いました。
- ・ これにつきましても、長野県さんから助言を頂戴いたしまして、このいただいた助言を踏まえた環境保全措置を実施いたしまして、周辺環境に配慮しつつ、今後ともしっかり進めてまいりたいと考えております。
- ・ 工事を進めるにあたってはですね、地元の皆様方に工事用車両の通行などご負担をおかけしているところがございます。引き続き早期の完成を目指して全力で取り組んでまいり方針に変わりはありません。それに当たっては地域の皆様との信頼関係、これが大変大事であるというふうに考えておりますので、今後ともコミュニケーションをしっかりと取って丁寧な対応に努めてまいりたいと思います。
- ・ それから地域振興につきましてもお話をいただきました。これにつきましては沿線の地域の魅力を高めるアピールをしていくということは、中央新幹線開業後はもちろんのこと、開業までの間においても大変重要だと私の方でも考えているところでございます。
- ・ 当社としましても、鉄道事業者の立場から、長野県さんそれから関係する自治体の皆様方、それから地域にお住まいの皆様と連携しながら協力して様々取り組んでまいりたいというふうに思います。
- ・ 最近の例といたしまして、挙げさせていただきますと、沿線でこれは以前からやっておりますけども、さわやかウォーキングというウォーキングイベントを今開催させていただいております。地元の皆様の大変なご協力をいただきまして、もちろん私どもの駅ですとか、あるいはそれ以外の現場に近い方なども、いろいろと参加させていただいて、そういった連携の中でプランをお組みいただいております。お互い楽しんで頂いて、それから地域外からのたくさんの方にお越しいただけるというそういったウォーキングイベント

を開催しております。

- ・ それからこれも以前から大変人気がありますけれども、飯田線秘境駅号、これを運行させていただいております。そういったことをさせていただくというところに、今回貸し切りの臨時列車としてサイクルトレインを運行させていただきました。
- ・ それから、2023 年から行っているものでございますけれども、地域と連携して関係人口の創出を目指す conomichi と我々名付けさせて頂いておりますけれども、conomichi プロジェクト、こういったものに取り組んでおります。
- ・ 長野県内でもですね conomichi プロジェクトのイベントを複数回開催させていただいております。これは東京などからご参加いただいているイベントでございます。ほぼ毎回定員近く達する人気の企画になっているということでございます。
- ・ こういった今の例を申し上げましたけれども、様々な取組を今後もしっかりと盛り上げていきたいという風に思っています。
- ・ それから先ほどお話がございました、御嶽山の国定公園化についてですけれども、これも実現の暁には、御嶽山、長野県それから岐阜県にまたがったものでございますけれども、本当に登山に大変に人気のところでございますけれども、さらにこれから価値が上がっていくことが期待されているものでありまして、多くのお客様がこれまで以上にお越しいただけるんじゃないかなと思っております。もちろん中央線の沿線でもありますので、国定公園化に向けてのいろんな詳細につきまして、わたくしたちもお伺いしながら、鉄道事業者としてどんなことが協力できるか考えながら見てまいりたいという風に思っています。
- ・ それからこれもお話にございました、2027 年の信州デスティネーションキャンペーンです。これは久々の開催ということでございます。これは全国規模の開催になっておりますので、全国から JR 各社が共同してやる予定であり、私どももまさに営業エリアでございますので、長野県さんと連携して、全国の皆様に長野県の魅力をアピールすることで力を尽くしてまいりたいというふうに思っております。どうぞよろしくお願いします。
- ・ それからまちづくりについての話でございますけれども、あの中央新幹線の沿線、それからさらに広がる圏域、これが活性化されて魅力的になるということは、当社としても当然大変ありがたいことでございます。今後ですね、地元の皆様から様々なご意見を伺いながら、できる限り協力をしてまいりたいというふうに考えているところでございます。
- ・ それから中央新幹線の効果をさらに広域に広げていく、これも重要でございまして、長野県様はじめ、関係の自治体におかれましては、アクセス道路ですとか、駅の周辺の整備等にご尽力いただいておりますこと改めて感謝申し上げたいと思います。
- ・ それから、多極分散型国家のモデルとなる実証都市圏域形成でございます。これについては、当社としましてですね、中央新幹線の沿線圏域が活性化される、これが大変期待されるところでございまして、まずはしっかりと開業に向けて全力を尽くしてまいりたいと思います。
- ・ これに関連してですね当社の組織についてのお話を頂戴いたしました。会社内にもいろんな部署がございます。それぞれの役割や必要に応じて、適切な場所に今配置しているところでございます。当社の本社機能等について現時点でなかなか具体的なことを申し上げることはできないんですが、一方で、開業後は長野県駅はもちろんのこと、その駅の近くに保守基地等の機関を設けるという予定でございます。そういったところに社

員が常駐するということになります。

- ・ いずれにしましても、長野県さんのお取り組み等についていろいろお話しをしながら、私共鉄道事業者として協力できることも検討してまいりたいと思います。
- ・ それから停車本数でございますけれども、開業時期の経済状況ですとか、あるいは輸送機関の動向、それから駅の周辺の開発状況ですとか、それからご利用者の見込み、こういったことを踏まえて、やはりこれは開業が近づいた時点で決定してまいるということで考えております。
- ・ いずれにしましても、引き続き工事をするにあたっては工事の安全、環境の保全、それから地域の連携、それを重視して、そして繰り返しになりますが早期の開業を目指して全力を挙げて取り組んでまいりますので、長野県はじめ地域の皆様におかれましては引き続きのご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げたいと思います。